

## なごやぬいぐるみ病院イオン実施報告書

文責：若松真野

連絡先：mano.wakamatsu@gmail.com

### ●実施概要

- ・実施日：2013年12月21日(土)
- ・活動場所：イオンタウン千種
- ・当日参加した学生の人数：21人
  - ・活動時間：10:00～18:00
- ・活動内容：お医者さんごっこ、保健教育（ビンゴゲーム）、なごやぬいぐるみ病院の活動紹介
- ・保健教育テーマ：「風邪予防」
- ・当日の流れ（園児の動き、学生の動きが分かるように）

時間	行ったこと
9:00	集合
9:20	イオンへ移動、荷物の搬入
9:30	準備、動きの確認
10:00	実施開始
18:00	実施終了、片付け開始
18:30	片付け終了、反省会
21:00	解散

### ●準備について

- ・今回の準備に向けて初めてMTGを行った日：10月21日
- ・準備に来た学生の人数：1日平均4人
- ・当日までの準備の日程・内容

日程	話し合ったこと、準備したもの
10月21日	イオンタウン千種への交渉の確認、電話がけ
10月29日	営業担当の方と交渉→OK
11月5日	書類を提出
11月13日	イベントカレンダー原稿送付
11月17日	保健教育アイデア出し
11月30日	問診カルテ、フローチャート作成、保健教育アイデア出し
12月1日	問診カルテ、フローチャート作成、台本叩き合い
12月7日	問診カルテ、フローチャート作成、保健教育グッズ作成
12月8日	薬の準備、保健教育グッズ作り

12月14日	問診練習、保健教育グッズ作り
12月15日	問診、保健教育の練習
12月16日	問診、保健教育の練習
～20日	
12月21日	実施当日

●診察（おいしゃさんごっこ）について

前回からの改善点・工夫した点

- ・名大祭で使用したフローチャートを大幅に改正した  
(血液検査、インフルエンザ検査、耳鏡、呼吸数などを検査項目に増やす)  
(診断を症状や検査結果を参考に病名を選ぶ方式に変えた)
- ・カルテの用紙の大きさをA3にした
- ・薬局で使用する薬を新しく作成した
- ・アンケート集計を行う際のIDの記入手順を変更した  
(事前にIDを記入しておく、回収場所を決めるなど)

今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

- ・カルテが大きくなったため、子どもたちが文字を書きやすそうだった
- ・フローチャートを大幅に改正したため、スムーズに問診を進めることができた  
(わかりやすかった)
- ・IDの記入に関する混乱はなかった
- ・アンケート回収箱をわかりやすいものにすると良かった
- ・薬の名前が難しく、名前を書くのに時間がかかってしまう子どもがいた

●保健教育について

- ・テーマ：風邪予防
- ・テーマを選んだ理由

季節にあったテーマを選択した。

また、今回はなごやぬいぐるみ病院は初めてという子どもたちへの実施だったため、どの年齢層の子どもがきてもわかりやすいテーマにすることにした。

- ・形式：⑧ 紙芝居 カルタ 実験 その他（ビンゴゲーム、エプロンシアター）

- ・内容：

- ・エプロンシアターを使用した劇
  - ・朝ごはんを食べない、マスクをつけない、手洗いうがいをしない、寒い格好のまま寝るという要素を組み込んだ劇を行い、子供たちにどこが悪かったか指摘してもらう形式（低学年向け）
  - ・風邪予防に関するクイズを使ったビンゴゲーム（高学年向け）
  - ・ごはんを食べること、マスクを付ける、手洗いうがいをする、暖かくして眠るという4つの要素が風邪の予防に大切、という内容の劇（幼稚園児向け）
- ※ただ、今回保健教育は人が集まらなかったため、実際に実施できたのはビンゴゲームとエプロンシアターのみ

使ったもの（作成したものも含む）

エプロンシアター  
 スケッチブック（クイズに使用）  
 ビンゴカード



（左：エプロンシアター、右：子どもが持っている紙がビンゴシート、スケッチブック）

- ・説明の際、注意した言葉や表現

エプロンシアターではバイキンも使って風邪になる仕組み、うがいや手洗いの効果について説明した。  
 その他の臓器についても説明した

- ・子どもの反応：

理解：~~理解してくれた~~ 理解できないようだった わからない

楽しさ：~~楽しんでいた~~ つまらなそうだった わからない

行動変容：保健教育を受けて、行動が変わった 変わらなかった ~~わからない~~

良かった点

- ・ビンゴではシールを使用したけど、子どもたちはとても嬉しそうにシールを貼っていた
- ・エプロンシアターに興味深々で自分からいろいろと質問をする姿が見られた

- ・ビンゴは好きという子どもが多かった

#### 反省点

- ・人が集まらず、保健教育の劇を行うことができなかった

保健教育という時間をとるのではなく、待ち時間に行える簡単なものを行うほうが良いとわかった

- ・同じテーマの保健教育をやる大学へのアドバイス

エプロンシアターは子どもたちの興味をひくには効果があります！また、エプロンにバイキンを貼れるように工夫しましたが、「つけたり、貼ったりできる」という要素も子どもたちに好評でした。

エプロンをつけているあいだは、「これはなに？ここは？」と子どもからたくさん質問を受けたので、すべての臓器の働きを理解して、わかりやすく説明できるように準備しておくことと焦らずに対応できると思います。

また、ビンゴゲームも初めての試みでしたが、とても楽しそうにしていました。

ただ子どもたちはクイズに正解すると、盛り上がってしまって解説を聞いてくれないことがあるので、その時は子どもたちに「どうしてこの答えを選んだの？」を聞くとその後の解説も興味を持って聞いてくれます。

- ・その他

子ども連れの家族をターゲットに広報活動や呼び込みを行っていたが、そうではない層（お年寄り夫婦、夫婦のみ、サラリーマンなど）も広報物を興味深く見ている様子が多く見られた。子ども連れ家族しかぬいぐるみ病院の活動に興味を示さないと思っていたが、今回の実施の様子から、子ども連れ家族以外の方に向けての広報も需要があるのかもしれないと感じた。

今回のイオン実施では、営業担当の方がとても親切で、当日イベント紹介の放送もかけていただくことができました。

また8時間という長丁場でしたが、1・2年生の中心メンバーに加えて、多くの先輩方にも支えられて無事に実施を終えることができました。

イオン実施決定までの事務手続きや実施の詳しい様子は、ぜひなごぬいメンバーに尋ねてみてください！

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。